

■華穂ちゃんレッスン Track 1 ～女の子との話し方～

○場所..自宅・部屋(兄) 時間..夜(21時頃) 人物..華穂

(SE .. ノック音)

//ドア越しに呼びかけ 編集で少しきぐもつた風に

001 「おにいちゃんっ、部屋入るよ～」

//くぐもり 終了

(SE .. ドア開け音)

(SE .. 足音 フェードイン)

002 「もう、お兄ちゃんたら…まゝた勉強してたの？」

003 「どれどれ～、

『恋愛心理学～これだけ抑えれば彼女ができる魔法の法則10選～』

//次セリフ以降 指示があるまで 少し小ばかにした風で

004 「へええ～？ お兄ちゃんってえ…難しいのだけじゃなくて…」

こんな本も読むんだ～、あはあっ♪「

005 「華穂お～、お兄ちゃんにちや～んと…恋愛感情があつて嬉しいな～」

006 「ねえ、お兄ちゃん？ お兄ちゃんって今まで彼女、いたことってあるの？」

007 「ふふつ、ないよね～。華穂、お兄ちゃんのことは割と見てるつもりだけど～」

008 「お兄ちゃん今までそんな素振り：一度も見せたことないしい～」

//次セリフ お兄ちゃんに抱き着く

(SE .. 抱きつく音)

009 「なにより～…ほらあつ、こうして華穂が～ギュ～つてただけでえ、

お兄ちゃんの身体…もうガチガチになっちゃってるじゃない」

010 「もう、お兄ちゃんってば実の妹にそんなんじやあ、

他の女の子にこんなことされたらあ～、どうなつちやうんだろうね～」

//小ばかにした風 ここまで

//お兄ちゃんのことを割と心配してる風に 指示があるまで継続

011 「お兄ちゃん…そんな本ばつか読んでても、

いつまで経つても彼女できないよ？」

012 「本当はお兄ちゃんも分かつてるんじゃないの？」

このままじやダメだってこと」

013 「い～い？ お兄ちゃん？

華穂はね、お兄ちゃんには幸せになつてほしいつて…本気で思つてるんだよ？」

014 「だから、こんな風にわざわざ発破をかけてあげてるんじゃない」

015 「もう、しようがないお兄ちゃんだなあ～」

016 「お兄ちゃん…来年はもう社会人だし、

きっとこのままじゃ一生独り身の人生だよ？」

017 「もしそんなことになつたら、

お兄ちゃんだれにも愛されないまま終わっちゃうよ？」

018 「華穂…そんな可哀想なお兄ちゃん、見たくないよ！」

//心配してゐる風な演技 ここまで

019 「だからあ…お兄ちゃん、

華穂で女の子に慣れる…れ・ん・しゅ・う、してみない？」

020 「これは、このままじや生涯独身になりそうなお兄ちゃんを心配する、

優しい妹からのプレゼント」

021 「華穂…学校でかなりモテる方だし、

お兄ちゃんよりは恋愛に詳しいと思うよ？」

022 「ねえ…お兄ちゃん、どうかな？」

お兄ちゃんにはテスト前とか勉強助けてもらつてるし、

華穂からも何かお礼ができたらなうって…思つてたんだけど」

023 「ふふっ、華穂お…と～つてもできた妹じやない？」

お兄ちゃんのことを思つて…ここまでしてあげる妹、なかなかいないよ～？」

//少し間(3～5秒)

024 「やるんだ♪ それじやあ、今日からお兄ちゃん改造計画けつて～い！」

025 「華穂お～、お兄ちゃんが女の子に慣れるように、

た～くさん特訓したげるからね」

026 「お兄ちゃんも華穂を…本当の恋人だと思つて、

色々試しちゃつてもいいからね♪」

027 「それじやあ…お兄ちゃん、

さつそくだけど…華穂の目を…じ～つと見つめてみよつか♪」

028 「ああっ…だ～め、お兄ちゃんっ…目をそらさないで？」

女の子とうまく話す基本は…まず目を見て話すところからだよ」

029 「お兄ちゃんには華穂があ、

恋愛を一から…『実技』で教えてつてあげるからあ」

030 「お兄ちゃんは華穂の言うとおりにしてね」

031 「はいっ、じゃ～あ～、

華穂の目を見て、じ～つと…そう…目はそらさずに～」

032 「ふふつ、最初はこうしてるの恥ずかしいよね～」

033 「でもでも、こうして落ち着いて女の子のこと見てみると、案外ふつうでしょ？」

034 「なんにも…難しい事なんてないんだよ？」

お兄ちゃんはただ自分で勝手に色々考えちゃって…自滅してるだけ」

035 「男の子と話すときみたいに、

リラックス…リラ～ックス、はい…肩の力抜いて～」

036 「そうっ、深呼吸…深呼吸～吸って～、はいて～、吸って～、はいて～つ」

//ちゃんと出来たお兄ちゃんをたくさん褒めてあげる

037 「うんっ、お兄ちゃん：おめでと～う！ 華穂の目、ちや～んと見てられたね」

038 「えらい、えらい～。お兄ちゃん、えらいねえ～」

039 「たしかに華穂はお兄ちゃんの妹だけど、

でも…華穂は結構可愛い方だと思うよ？」

040 「だから～、華穂の目をじ～つと見れたお兄ちゃんなら、

きっと他の女の子とも上手くお話できると思うよ♪」

041 「お兄ちゃん、今日の華穂ちゃんレッスンはここまで、よくできましたあ～」

042 「パチパチパチパチ～つ」

//読み方..コミュ力～こみゅりよく

043 「そう♪ これからお兄ちゃんは、

華穂ちゃんレッスンでコミュ力爆上がりするんだからっ」

044 「それじや～あ～、この後は可愛い妹、華穂ちゃんからあ、

頑張ったお兄ちゃんにご褒美がありま～すっ

045 「おに～ちゃんっ？ 華穂：お兄ちゃんのために頑張るから、

これからもっと、も～っと女の子に慣れていこうね♡」

■通常パート 終了

■Track 1 有料枠 プレイ内容..手コキ

○場所..自宅・部屋(兄) 時間..夜(22時頃) 人物..華穂

046 「やつほ～お兄ちゃん♪」

047 「華穂にい…お兄ちゃんの実の妹にご褒美もらいたくってえ、

ここまできちゃつたんだね？♡」

048 「ここの、へんた・いつ。あはあ♪」

049 「でも…お兄ちゃんだつて男の子だもんね。

そりやあ…華穂みたいな可愛い妹と一つ屋根の下、興奮くらいして当然だよね」

050 「むしろ、お兄ちゃんがあれで欲情しなかつたら、

華穂：ほんとにお兄ちゃんの将来が心配だつたよ」

051 「それじゃあ、今日の華穂ちゃんからのご褒美の～、

手・コ・キ、したげるね～♡」

「ああっ…お兄ちゃんはじつとしててね、お触り禁止。

これは華穂から頑張ったお兄ちゃんへのご褒美なんだから」

(SE .. ズボン上から股間を擦る 速度 .. ゆっくり ループ)

053 「まずは、ズボンの上からあ、すり…すり、すり…すり…。

ふふつ……お兄ちゃんのおちんちん、すり……すり＼……すり……すり＼つ

「お兄ちゃん、女の子にこんなことされたの初めてでしょ～？」

「妹とはいえ……どう……お兄ちゃん？」

年頃の女の子の手だよ…柔らかいでしょ♪

056「ふふっ…ズボンの上からでもお、手の感触気持ちいいんだあ、あはあっ♪

華穂も次第に興奮してくる。吐息、徐々に熱っぽくなる

「すりすり…すりすりすり」
はあ…はああ、

ズボンの上からあゝ…おちんちん…すりすり…すりすり…」

058 「ああっ…お兄ちゃんのおちんちん、勃起してきたね♪」

059 「凄く熱もつて…はあ…はあ…妹の手でされてえ♪、

興奮してきちゃったんだあ」

060 「すりすり…すりすりすり…はあ…はあ…すりすりすり…」、

ほらあ…どんどん硬くなってきてるよおつ？」

061 「すりすり…すりすりすり…はあ…はあ…すりすり…すりすりすり…」、

062 「こうして…んんうつ、

男の人のおちんちん…勃起していくのは初めてだけどおつ…はあ…はあ

063 「お兄ちゃんのおちんちん、

子どものころはあくんな豆粒みたいに小さかったのになあ♪」

064 「今じや、こくんにおつきくなっちゃってえ、いやらしんだあ♪♥」

065 「それ…に…ズボンの上からでも分かるくらいに、すつごい熱いし、

はあ…はあ…なによりもかつたあ…い♪」

066 「男の人のおちんちんってえ、こんなになるもんなんだ」

//次セリフ 少しからかうように あざとく演技 指示があるまで継続

067 「もう…ズボンの中、おちんちん…パンツパンに膨れ上がっちゃってて、すつごい苦しそうだし、そろそろ脱がしてあげよっかなあ～」

068 「ほら…お兄ちゃん、ズボン…脱ぎたいよね？」

そういう時はなんて言うんだっけ?」

069 「ほらっ。華穂ちゃん…ズボンぬぎぬぎしてえって、おねだりしなきや」

//少しからかうように あざとく演技 ここまで

(SE ..ズボンの上から擦る音 ループ 終了)

//少しの間 3~5秒

070 「ふふつ、よく言えましたあ～♡」

(SE .. ズボンを脱がす音)

071 「きやあつ？ お兄ちゃんの興奮しすぎなガツチガチおちんちん…

ごたいめ～ん♪」

072 「わ、すっごいね：お兄ちゃんの。こ～んな立派なモノ持ってるのに、

今まで一人も女の子のこと…気持ち良くなさせたことないおちんちん、かわいそお～」

073 「華穂お～、

お兄ちゃんのかっこいいおちんちん見て：びっくりしちゃったよお」

//次セリフ以降 指示があるまで あざとい演技 開始

074 「それに、お兄ちゃんのオスの匂いに…興奮してきちゃったあ♡」

075 「さつきから…華穂のおまんこ…キュンキュンしちゃつてる」

076 「たぶんもう…グチヨグチヨだよ？」

077 「ああ～っ…お兄ちゃん今…華穂のえっちい姿…想像したでしょ」

078 「おちんちん…ビクツて跳ねて…さつきよりもおつきくなつたもん」

079 「んふふつ、

お兄ちゃんってば…早く華穂にしこしこしてほしくてたまんないねえ？」

080 「しょゝがないなあ」 お兄ちゃん今日は頑張つたし、

華穂ちゃんが…変態お兄ちゃんのおちんちん…慰めてあげるね♡

(SE .. 手コキ音 水気 .. なし 速度 .. ふつう ループ)

081 「しこしこ…しこしこしこ…はあはあ、しこしこ…しこしこしこしこしこ♡」

082 「ふふつ、お兄ちゃん…華穂がしこしこつてしたげる度に、

身体びっくんびっくんさせちゃつて」

083 「そんなに女の子の手でされるの…気持ちいいんだあ♪」

084 「でもしようがないよねえ、お兄ちゃん…童貞なんだもんねえ？」

085 「こゝんな気持ちいいこと、華穂以外の誰もしてくれないもんねえ?♡」

086 「そうっ…今お兄ちゃんのおちんちん、

しこしこしてあげてるのは…お兄ちゃんの実の妹♡」

087 「お兄ちゃんは彼女がいないから、

いつもしこしこしこしこ…自分でしてるだけだつたけどお」

088 「今日は超可愛い妹の華穂があ、

お兄ちゃんのおちんちん、しこしこ…しこしこってしてあげてるの」

089 「しこしこしこ…しこしこしこしこ、

んんう…はあはあ…しこしこしこ…しこしこしこしこ♡」

(SE .. 手コキ音 水気 .. なし 速度 .. ふつう ループ 終了)

090 「あああああ…おちんちんから我慢汁出てきたあ…おにいちゃあん…妹に

されてえ…おちんちん感じちゃってるんだあ」

(SE .. 手コキ音 水気 .. 普通 速度 .. ふつう ループ)

はあはあ…しこしこしこ…しこしこしこしこ～」

092 「気持ちいいねえ？」
女の子にしこしこしこ～って言われながら、

自分とは違う手で…速度でおちんちんしごかれるの、気持ちいいよねえ」

093 「当たり前だよねえ、だって華穂はお兄ちゃんの妹だもん」

094 「華穂お〜…お兄ちゃんの考えてるコトだつたり、

気持ちいいだろうなあ～ってトコはだいたい分かるもん」

095 「だって、お兄ちゃん反応がすつごい分かりやすいし♪

096 「やっぱりい、華穂とお兄ちゃんは兄妹だから：身体の相性いいのかもね」

097 「んうっ…はああ、しこしこ…しこしこしこう♡」

「氣持ちいいつ?
氣持ちいいよねえつ?

妹に任せつゝきりで…おちんちんしこしこされてえ、

こんなのがいいに決まってるよね♡」

099 「いいよお～…お兄ちゃん…はあは、もつと感じて～？」

これはあ～…華穂からお兄ちゃんへのご褒美…なんだからあ～」

(SE .. 手コキ音 水気 .. 多め 速度 .. 速い ループ)

//セリフ間の「間」も、射精に向けて気持ち速めで 開始

100 「しこしこ、しこしこしこつ、んうつ、はあつ、しこしこ、しこしこしこ♡」

101 「ほらっ、ほらほらあつ！ だんだんペースが速くなつてきたあ」

102 「お兄ちゃんの感じ具合みながら速度調整してるんだけどつ、

今お兄ちゃん…す～つごい我慢してるでしょ…あはあつ♡」

103 「華穂～、わかっちゃうんだあつ、

お兄ちゃんがすごい気持ちいいの我慢してるの」

104 「しこしこつて可愛い妹にされてえ～、

お兄ちゃんもうイッちゃいそうなんだよね？♡」

105 「さっきから足ピーンって力入って、そんなに歯あ食いしばって、必死に射精を我慢してる」

106 「でもお〜、もうう〜、限界なんだよね?♡」

107 「いいよお? 出してえ〜?♡ 妹におちんちんごしごしされながら、

あああつ、あああつって喘ぎながら、精液たくさん出しちゃうとこ見せてえ♡」

108 「華穂お〜お兄ちゃんが射精するとこ、みたいなあ〜」

109 「ほらつ、ほらあつ、しこしこしこ、しこしこしこしこ、

しこしこ、しこしこしこつ、イッちゃえ、ほら、イッちゃえ!」

110 「実の妹におちんちんごしごしされてえ、気持ち良く射精しちゃえ〜つ!」

//少しの間(この間に速めで手コキ音を継続して流す)

111 「はあ〜はああ♡ お兄ちゃん、いくの? イッちゃうの? いいよお? お兄ちゃんの真っ白な精液、たくさんびゅつびゅして〜つ?♡」

(SE .. 手コキ音 水気 .. 多め 速度 .. 速い ループ フェードアウト)

(SE .. 射精音)

112 「あああああつ♡♡ 出て、るうううつ！ んんううつ！

お兄ちゃんの童貞おちんちんからあゝ、たくさん精液出ちやつてうううつ！」

113 「はああつ…はああつ♡ ちよつ、まだ出るのおつ？」

お兄ちゃん精液溜めすぎでしょ～つ」

114 「ひやあつ…ちよつ、顔にかかるちや、ああんつ…はあつ…はあう♡」

//少し間

//大量に出した兄に対し、少し呆れている華穂

115 「ちよつと、お兄ちゃん！？」

華穂…たしかにお兄ちゃんの射精見てあげるって言つたけど、

こんなに出すなんて聞いてないんだけど！？」

116 「もううつ、お兄ちゃんのえっち！ へんたいつ！ どうでいつ！」

……ふふっ、なんんてね、一度言つてみたかっただけ♪」

117 「でもお兄ちゃん、そんなに妹の手が気持ち良かつたの？」

118 「ふふっ…そうだよね、気持ち良くないと…こんなに精液出ないもんね？♥」

119 「よかつたね、お兄ちゃん♪ 妹の手で、手コキ童貞卒業できて」

120 「お兄ちゃん夢だつたんだよね？ 女の子にこういうことされるの」

//あざとい演技 開始

121 「あ～あ～っ？ お兄ちゃんの部屋、す～ごくイカくさあ～いっ♪」

122 「もう、お兄ちゃんがこんなに精液出すからだよ？」

123 「さすがに精液のお掃除はお兄ちゃんがしてね、自分で出したんだから」

124 「華穂は顔にかかつちやつたの、綺麗にするから」

//華穂 顔にかかった精液をすくい取つて舐める

125 「ペロッ…ふふ、見た目どおり濃厚で…すつい変な味♪」

//シト田

126 「あ～？♡ もしかしてお兄ちゃん、

華穂がお兄ちゃんの精液ペロッとしたの見てえ、興奮…してきちゃったの？」

127 「あらら、また勃起してるし。でも、今日はもうおしまい」

128 「あとは華穂とのエッチ思い出して自分でしてね♪」

129 「おやすみ…お兄ちゃん」

130 「明日からまた、華穂との特訓頑張ろうね♪」

■Track 1 終了

■華穂ちゃんレッスン Track 2 ~聞き上手になろう♪~

○場所..自宅・部屋(兄) 時間..夜(21時頃) 人物..華穂

001 「お兄ちゃん…今日もかわいいかわいい妹の華穂があ〜、

お兄ちゃんに恋愛テク…教えてあげるねえ」

002 「今日のテーマは〜、ぎ・つ・だ・ん、についてだよお」

003 「お兄ちゃんさあ、普段難しい本ば〜っかり読んでるから、

最近の流行りとか全然わかんないでしょ♪

004 「はあああ、お兄ちゃんが上手く女の子と会話が弾まないのはあ、

そういうトコだとと思うよお〜…華穂はあ

005 「で〜も〜…お兄ちゃんはあんまりトレンドとか興味ないんだもんね〜」

006 「それじゃあ、一から情報追っていくのも大変だよね♪」

007 「そんな堅物お兄ちゃんに華穂ちゃんから朗報です♪」

008 「お兄ちゃんはあ～、これから聞き上手を目指しましょ～♪」

009 「え～っとね…お兄ちゃんは分かんないだろうから解説すると～」

010 「お兄ちゃんは女の子の話に…うんつ…うんつて…頷いてればいいの、

ねつ…簡単でしょっ？」

011 「うんつ…ほんつとそれだけ」

012 「お兄ちゃんさあ、華穂と会話してる時もそうだけど、

好きな話題になると周り見えなくなっちゃう癖あるじやん？」

013 「あれ…あまり女の子的によくないと思うなあ」

014 「だからさ？　まずは華穂と練習してみようよ」

015 「はいっ…じゃ～あ、華穂がお兄ちゃんに話題振るけど、

お兄ちゃんはただ…うんつ、うんつて…反応すればいいからね？」

余計な事しなくていいからっ」

//次セリフ以降 お兄ちゃんを小ばかにする演技 開始 指示があるまで継続

016 「ね～え～…お兄ちゃんつ、

お兄ちゃんつてさあ…なんで彼女…いないの～？」

017 「お兄ちゃんつてあんまりモテなそだしね、 しようがないよね～」

018 「こ～んなお兄ちゃんの面倒見てくれる子なんて…妹ぐらいだもんねえ～」

019 「ね～え…お兄ちゃん、お兄ちゃんつて実際、華穂のこと…どう思つてるの？」

020 「ただの妹？ ほんとにほんと～？」

021 「華穂お～…お風呂上りとかあ…ソファーで横になつてる時とかあ、

オスの興奮した視線感じるんだけど、 なんでかなあ」

//少し間(3～5秒)

022 「お兄ちゃん、 いつも華穂がスキを見せると、

胸元とかお尻とか…チラツチラツて見てるよね～」

023 「あはあつ…まさか…気付かれてないとでも思つたあ？」

024 「まつたくも～うつ、お兄ちゃんつてば…実の妹で何想像してるのよ」

025 「ああつ…そそう…あと…お兄ちゃんつてえ…足フェチだよねえ」

026 「華穂が足組んでる時とかあ…ニーソ脱ぐとか…絶対こっち見てるよね」

027 「もうつ…お兄ちゃんたらあ…童貞なだけあって、

ほんつとピュアツピュアの脳みそしてるよねえ」

//お兄ちゃんを小ばかにする演技 ここまで

//次セリフ以降 素の演技 開始 (たまに素に戻ることで本心を吐露)

028 「まあ～あ？ 華穂はそんな純粹なお兄ちゃんのことも好きなんだけど」

029 「うう～ん、なんでもない…なんでもない、こつちの話だから」

030 「はいっ、続けるよ～？」

//素の演技 ここまで

//次セリフ以降 お兄ちゃんを小ばかにする演技 開始 指示があるまで継続

031 「ところでさあ…お兄ちゃん、女の子の唇ってどんな感触なんだろうねえ」

032 「お兄ちゃん…わかんないよね、だって今まで彼女いたことないし」

033 「ああっ…そつかあ、お兄ちゃんのファーストキスは…ママ…だつたね」

034 「ごめんごめんお兄ちゃん、お兄ちゃんがキスしたこともないって言つて…」

035 「でも、お兄ちゃんつて…大人のキスはしたことないもんねえ」

036 「ファーストキスはレモンの味…昔つから言うけど、

それもほんとかどうかわかんないよねえ」

//お兄ちゃんを小ばかにする演技 ここまで

037 「にっひひ～…ま～今日はこんなところかな～、

どうだつたかな…お兄ちゃん？」

//読み方・何||なん

038 「ああっ…ごめんね？ お兄ちゃん。

華穂…何か変なスイッチ入っちゃって…ちょっと言い過ぎちゃったかも

039 「お兄ちゃんとは普段からよく話してるから…改めて話す話題もなくつて、

お兄ちゃんのコト少しいじわるしちやつた♪」

040 「ま～あ？

お兄ちゃん…華穂が教えたげたこと守つて、

華穂のトークに…うんうんつて領いてたね」

041 「えらいつ！ エらいよ、お兄ちゃん♪」

042 「それでこそ、華穂のお兄ちゃんだけあるよ～」

043 「じゃ～あ～…お兄ちゃん、今日のふくしゅ～うつ♪」

044 「リピート・アフター、華穂～」

045 「女の子と話すときは、

あまり深く考えず～かる～く流すような感じで…うんうんって、う・な・ず・く」

//読み方・堪え切れた//たえきれた

046 「これだけ抑えてれば、

華穂ちゃんのちょ～つといじわるな言葉攻めにも堪え切れたお兄ちゃんなら、

余裕で女の子と話せると思うよ」

//次セリフ 華穂 お兄ちゃんへの本心を言いかける 開始

047 「ま…ま～あっ？ もし…もしだよ、ど～しても彼女ができなければ…その、

華穂がお兄ちゃんの…」

//本心言いかける ここまで

048 「ううん～なんでもない、華穂のひとりごと～」

049 「ほ～らっ、男なら小さなこと気にしない…気にしな～い」

050 「それじゃあ～、今日の華穂ちゃんレッスンはここまで～」

051 「お兄ちゃんっ、ご褒美はあ～…あ・と・で・ね、ふふつ」

■通常パート 終了

■Track 2 有料枠 プレイ内容..足コキ+言葉攻め+お兄ちゃんに乳首弄らせる

○場所..自宅・部屋(兄) 時間..夜(22時頃) 人物..華穂

052 「はあ～い…おにいちゃん、今日も華穂ちゃんレッスンお疲れさまでしたあ」

053 「今日はちょっと、

お兄ちゃんにいじわるなことしちやつて…ごめんなさい」

054 「や～…お兄ちゃんつてば、

華穂に言葉攻めされてえ…ちょっと嬉しくなつてなかつた?」

055 「だつて…お兄ちゃんのコ～コ、もうこんなに硬くなつてる♪」

056 「華穂お～…まだな～んもしてないよ～」

057 「何もしてないのに勃つちやつてることは～、

お兄ちゃんが華穂の言葉攻めで興奮しちやつた証拠じゃないかなあ

058 「ふふ～、そんなどMで変態なお兄ちゃんには…華穂ちゃんからご褒美～」

059 「今日は～…足コキ…だよ～♪ お兄ちゃんっ」

060 「そ～♪ お兄ちゃんのコトイじわるしながらあ、

華穂の美脚で～…ふみふみ…してあげる～♪

061 「お兄ちゃんのおちんちん、

足裏で～…ごしごし…ごしごしごしつて…ごいてしてあげるう

062 「ああ～あ～、お兄ちゃんは服脱いだらあ…ベットの下に仰向けになろつか♪」

063 「ああ～で～も…寒くないよう…下に座布団、ちゃんと敷いてねつ」

064 「最近寒くなつてきたし、エツチで…かぜ引かないようにつ」

(SE .. 服を脱ぐ音)

(SE .. 横になる音)

065 「はい～…横になつたね、じゃ～あ～」

066 「んうっしょつ、華穂はベットに座つて…つと」

067 「お兄ちゃんのそそり立つておちんちん、さつそくいじいじしちやうねえ」

(SE .. 足コキ音 水気 .. 無し 速度 .. ゆっくり ループ)

//華穂 感じ度合い..小 喘ぎ声 .. 興奮している

068 「んうつ..はあつ..んうつ..はあつ、

あああつ..んんうつ..はああつ..んんう..はああつ

069 「お兄ちやあん..んんうつ..こんな感じいつ?

..んうつ..はあつ..んんう..はああ

070 「妹に足でされて興奮するなんてえ..んうつ..はあ、

お兄ちゃんつて..んう..はあ..ほんつと変態だよね..はあ..はあ

071 「でもつ..んう..はあ..それが..いいんでしょつ?♡

華穂に..足で..しこしこ..しこしこつて..はあ..踏まれるのが

072 「んんうつ…ふふうつ…んんうつ…はああつ、

お兄ちゃん…んうつ…はあ…力加減…大丈夫(?)」

073 「あああつ…んうつ…あああつ…んうつ…ふうつ、

はあつ…んんうつ…はあつ…はあつ」

074 「華穂おう…けっこう…んう…はあうつ、

力入れておちんちん踏んじやつてるからあつ…んんう…はああつ、

痛くないのかなあつて」

075 「んんうつ…はあつ…んんう…ああつ…あああつ、

んんうつ…はああつ…んんんつ…はあああ

076 「ふふつ…痛いぐらいが気持ちいいんだあつ…そつか♪」

(SE .. 足コキ音 水気 .. 普通 速度 .. 普通 ループ)

//華穂 感じ度合い .. 中 喘ぎ声 .. 感じている

077 「んんうつ…はあ…んんう…はあ…ああんうつ、

お兄ちゃん…我慢汁…出てきたね♪ んんう…はあ…んんう…はああ

078 「やあらしいんだあ～つ…妹の黒ストに…んう…はあ…はあ、

お兄ちゃんのえっちな汁…塗りつけてえ…はあ…はあ」

079 「んんう…もつとお…出してもいいからね？」

どうせこの黒スト…もう使えなそうだしい、

お兄ちゃんに…あげるつもりだからあつ…んう…はあ…はあ」

080 「んんう…はあ…んつ…はあつ、

んんつ…はあ…んんつ…はんつ」

081 「お兄ちやあん…んう、

妹に黒ストで足コキされる気分はどう？　はあ…はあ…」

082 「お兄ちやんむつりすけべだからあつ…んう…しょつ、

ずっと…こういうのされてみたかったんでしょ？　…はあ…はあ…」

083 「んう…ふう…んう…はあ…はあ…ああつ、

あんつ…お兄ちゃんの…ビクつて跳ねたあ…はあ…はあ」

084 「足の中でビクビクして…はあ…はあ、

まるでお兄ちゃんがもう一人いるみたいだよ?」

085 「んんっ…はあ…んんっ…はあ…んんう…はあ…んんう…はあ、

ふふっ…お兄ちゃん今…手が空いてるよね?」

086 「じやあさ…お兄ちゃんは自分の手で…乳首…弄つてみよつか♪」

087 「だいじょぶ…だいじょぶつ♪

乳首も一緒に弄つたほうが…ぜ~つたい気持ちいいからあつ、

んんう…はあ…はあ

088 「私は足でえ…んんう…はあ…こうしてつ…んう…はあ、

お兄ちゃんの気持ち良くしてあげるから」

089 「ほ~らあつ…乳首い…弄つて…弄つて~つ?

中指と薬指に挟んでえつ…乳首…刺激してみて~つ

090 「んんう…はあんう…んんう…ふうつ…んんう…

はあつ…はあ…ああ…ああ…はあ…あ…あ…はあ…はあつ」

091 「お兄ちゃんのおちんちん…もつと硬くなってきたよお♡

足でしごかれて…ムクムクしてきたあつ」

092 「あああつ…ああつ…あああつ…はあ…はあ、

お兄ちゃんのおちんちんう…あ～つつい…ん…んう…はあ…はあ」

093 「黒スト越しでもお…ん…んう…はあ…ん…んう…はあ、

熱が…伝わってくるよおつ」

094 「ああつ…ああつ…ああつ…はあ、ああつ…ああつ…はあつ…はあつ」

095 「お兄ちゃんのおちんちんからあ、どんどん…おつゆ…溢れてくるよおつ、

あああつ…ん…んう…はあ…はあ」

096 「ん…んう…ああん…つ…ああ…つ…ああ…つ…ああ…つ、乳…首いつ、

手え…止めちやあ…だめつ」

097 「最初はくすぐつたいかもだけどお、

お兄ちゃんの乳首いつ、もう…ふつくり勃起してきたよおつ」

098 「んんうつ…ああつ…ああつ…んんうつ、はあつ…はあ…んんうつ、
ああつ…それってえ、乳首でも…興奮してきた…ことだよ♡」

099 「お兄ちゃんはあつ…妹に足コキされながらあつ、

自分で乳首弄つてえ…すゞごい興奮しちゃつてるのぉ」

100 「ああつ…はあつ…んんうつ…ああつ…ああう、

はあつ…はあ…お兄ちゃん…お兄ちやあん…はあ…はあ

(SE .. 足コキ音 水気 .. 多め 速度 .. 速め ループ)

//華穂 感じ度合い .. 強 喘ぎ声 .. とても感じている

101 「ほら…ほらあつ！ ほらつ…ほらあつ♡

おちんちん…もーっと速くしてあげるからあつ…はあ…はあ

102 「たゞくさんっ気持ち良くなつてえつ…お兄ちやあんつ」

103 「んんつ、ああんつ、ああつ、ああうつ、はあつ、はあ、ああんつ、

ああんう、ああんつ、ああつ、はあつ、はあつ♡」

104 「乳首もおつ…こねこね…、こねこね…ってえ、もつとしてえ？」

もつと激しくこねこね弄つてえつ、はあ、はあ」

105 「ああつ、ああつ、ああつ、ああつ♥

ふふつ、お兄ちゃんの…我慢汁、すっごい溢れてるうつ、はあ…はあ」

106 「ああつ、ああつ、ああつ、ああつ♥

はああ…ヤバあ、華穂もお…お兄ちゃんのしごいてたらあつ、

ああつ、あんうつ、興奮…してきちゃつたあ」

//華穂 自分でオナニーを始める

107 「んうつ、はああつ、ああんつ、ああつ、自分でえ…弄つちゃうねえ？」

108 「お兄ちゃんのおつ…おちんちん足でしごきながらあつ、はああ、はああつ、
おまんこ…いじいじ…ああつ、ああつ、ああつ、ああんつ、

しちやう…ねえつ」

109 「お兄ちゃんもおつ、乳首…止めちゃやだよおつ、

一緒に気持ちよくなろおつ？♥ ねつ？」

110 「ああっ、ああっ、ああっ、ああうつ、はあ、はああっ♡

おちんちん・華穂の足でえ、いそっぽい気持ちよくなつてえつ？♡

はああ・はああつ「

111 「華穂にい・妹に足で踏まれて気持ち良くなつちやう・変態お兄ちやあんつ、

はああ・はああ♡

112 「ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、はあつ、はああ♡」

113 「んうつ、ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、はああつ♡

ああっ、ああっ、はああ、はああつ♡♡

114 「お兄ちゃんう・イきそう？ もう・精液出ちやいそう？」

115 「妹が足でおちんちんしごいてえ、ああっ、はあつ、はああ♡

興奮しちやつてる姿見てえつ、精子出ちやいそうなの？」

116 「いいよ、お兄ちゃんつ、出して！」

117 「お兄ちゃんの真っ白な精液、華穂の足にたくさんかけてえつ？♡

んんうつ、はああ、はああつ」

118 「ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああんつ！ はあつ♡ はあつ♡」「

119 「ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああんうつ！ はあつ！ はあうう♡」「

120 「お兄ちゃんうつ？♡

おちんちん気持ち良くなりたくて、腰勝手に動いてるよおつ？♡」「

121 「ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！

無意識で、華穂の足におちんちん擦り付けちゃってるうつ！

ああつ♡ ああつ♡ ああつ♡ はあ♡ はああつ♡

122 「ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！ いいよ、お兄ちゃんうつはあ

あ はああ

123 「イつて？ イつてえつ？♡」

124 「妹に足コキされながら、自分の乳首弄って、んうつ…はあはあ
気持ち良くなアへ顔決めちやつてる変態お兄ちゃんうつ♥

イつて？ ねえ、イつてえつ？♥」

125 「ああつ♥ ああつ♥ ああつ♥ ああつ♥ ああんつ♥
ダメツ！ ダメダメ～つ♥ 華穂、もお～つ♥」

(SE .. 次セリフ 絶頂のタイミングで射精音)

126 「ああつ！ ああつ！ ああつ♥ ああつ♥

いくつ！ いくつ♥ いくつ♥ イっくううううつつつ！ ♥♥

(SE .. 足コキ音 水気 .. 多め 速度 .. 速め ループ 終了)

127 「あああつ…あああつ…あああつ…あああああつ…あああああつ…

はああつ…はあああ…はあああ…はああ…はああつ…

//絶頂後の余韻 以降、最後までゆっくり目で話す

128 「お兄ちやあん♥ イつちやつたねえ？ はあ…はああつ♥」

129 「華穂もお、お兄ちゃんと一緒にイッちゃったああ♡」

はああ…はああつ…はああ♡」

130 「お兄ちゃんの射精見ながら、一緒にいくのすごく気持ち良かつたあ♡」

はああ…はああ…はああつ」

131 「見てえ？…おにょちやあん？ お兄ちゃんが出した真っ白な精液、

華穂の足にいっぱいかかるううつ♡ はああつ…はああ…はああつ

132 「お兄ちゃん…どうだつたあ？」

実の妹に足コキされながら、自分でちくオナしながら、

妹の目の前で射精した感想はあ？♡」

133 「ふふつ、お兄ちゃんドMだしね♪ これ…クセになっちゃいそうだね」

134 「いいよ、華穂…優しいから。

変態なお兄ちゃんがどうしても…って言うなら、また…してあげても」

//少し間

135 「レッスンも射精も…お疲れ様…お兄ちゃん」

136 「じや～あ、また明日のレッスンも楽しみにしててよね」

137 「おやすみ、お兄ちゃん♡」

■Track 2 終了

■華穂ちゃんレッスン Track 3 「女の子に頬ろう」

○場所..自宅・部屋(兄) 時間..夜(21時頃) 人物..華穂

(SE .. ノック音)

//次セリフ 部屋外から くぐもつた風に編集

001 「お兄ちゃん、部屋…入るよ～」

//くぐもり終了

(SE .. ドア 開く音)

002 「はい…今日もこの時間がやつてまいりました～」

(SE .. 足音(スリッパ) フェードイン)

003 「華穂ちゃんレッスン記念すべき第三回目は～」

004 「でれれれれれれれれ…れんつ、『甘え上手になろう』だよ♪」

005 「そう♪ お兄ちゃんは普段ぶっきらぼうだから、

女子目線だと…正直話しかけづらいオーラ出してるのよね♪」

006 「だ～か～ら～つ、

今日は華穂を同級生だと思つて、甘える練習もしてみよっか」

007 「ああ…もちろん甘えるといつても、ママ～…とかじやないよ」

008 「それだとお兄ちゃん、今度はマザコン認定されちゃうし」

009 「そうじゃなくつて、

たとえば、ちょっとしたことでも女の子に頼つてみると♪」

010 「普段クールな印象の男の人があ、

いつもとは少し違った一面があつたりすると…

女子的にはキュン♡って…するものなのぉ♪」

011 「ねねつ？ 簡単でしよう？」

012 「それじゃあ、さつそく実践してみよっか…おに～ちゃん♪」

//次のセリフ以降 華穂ちゃんレッスン シチュ開始 指示があるまで継続

■シチュ：授業開始 5 分前 兄：参考書を忘れる 華穂：一緒に見るよう提案する

013 「お兄ちゃん…どうしたの？ そんな血相を変えながら鞄の中あさって」

014 「ああ…もしかして…何か忘れ物しちゃった？」

015 「ふふっ、そうなんだね」

016 「でも、今から取りに行つたら…講義に遅刻しちゃうよね」

017 「ここにお兄ちゃんが今日使う教科書あるんだけど……

誰か華穂と一緒に見てくれないかなあ～？」

018 「華穂お～、一人で講義聞くの退屈だなあ～」

//兄 華穂に参考書を見てくれるよう頼む

019 「うん♪ もちろんいいよ、お兄ちゃん」

020 「はいっ…じゃ～これ教科書…一緒に見よっ？」

021 「え～と、そこからじや…見えづらいでしょ？」

022 「ほらほら～、もつとこっち寄つて寄つて～♪」

023 「それ～に～、お兄ちゃんにはちやんと、講義聞いてて欲しいし」

024 「ええっ…なんで～って、華穂お～…勉強苦手だしい」

025 「テスト前に、もう一回お兄ちゃんに教えてもらいたいなあって」

//次セリフ 耳元で囁くように

026 「もちろん、華穂から…ちやんとお礼もするから♡」

//囁き 終了

027 「ねねっ…お兄ちゃん、いいでしょ？」

028 「やつたあ♪…さつすがお兄ちゃん！ 話が分かるうつ♪」

//授業シチュ ここまで

029 「はい：カット～」

030 「どう…お兄ちゃん？ こんな感じで、ちゃんと女の子に甘えられそう？」

031 「今日は練習だったから…少し大げさにやつたけどお」

032 「たとえばそだなあ、お兄ちやんだつたら～」

//次セリフ 華穂がお兄ちゃんの真似

033 「なあ、俺今日ノート忘れちまつたんだけど、

俺の代わりにノートとっておいてくれない？」

//お兄ちやん真似 ここまで

034 「とかあ～、」

//次セリフ 華穂がお兄ちゃんの真似

035 「ちよつと喉乾いたんだけど、

俺お金持つてないから、お前代わりに買ってきてくれ」

//お兄ちゃん真似 ここまで

036 「とかあ！」

037 「あはあっ♪ ごめんなさい、まじめにやりますっ」

038 「まあ…普通に！」

//次セリフ 華穂がお兄ちゃんの真似

039 「今日ベン忘れちゃったから、ちよつと貸してくれない？」

//お兄ちゃん真似 ここまで

040 「とか、かなあ。何か最初に、話すきっかけ的なものがあればいいよね」

041 「そうやつて会話にワンクッシュョン置くことで、

その後の会話に繋がつてくれるものだし」

042 「女の子だって、私ってモノを貸せるぐらいには、

この人のことを信用してるんだな～って、勝手に思つてくれるし」

043 「それで、もう少し関係が進んで、

知り合いとか・友達つていえるぐらいになつたら～」

//次セリフ 華穂がお兄ちゃんの真似

044 「ごめんっ…今日俺・財布忘れちゃつたから、おごってくれない？」

//お兄ちゃん真似 ここまで

045 「とかあ～ あとお兄ちゃんだったから、おごってくれない、」

//次セリフ 華穂がお兄ちゃんの真似

046 「今度妹の誕生日だから・女子目線でプレゼント選ぶの手伝つてくれない？」

//お兄ちゃん真似 ここまで

047 「とか…かな～♪」

048 「そうやつて、相手に借りを作つておけば、

少なくとも…もう一回は話す機会が生まれるわけでしょ？」

049 「特にご飯とかだったら、おごってくれた代わりに…」

今度はお兄ちゃんが美味しいものをご馳走してあげるとか…ね？」

050 「華穂ちゃんからのアドバイスはこの辺…かな～」

051 「それじゃあ、お兄ちゃん実際に華穂相手に練習してみよっか」

052 「はいっ、じゃあスタートっ」

//次のセリフ以降 華穂ちゃんレッスンのシチュ開始 指示があるまで継続

■シチュ・充電器を借りる 時間・授業開始 5分前

//兄・充電器を忘れる役 華穂・充電器を貸す役

053 「んんっ？ お兄ちゃん、どうしたの？ そんな困った顔して」

054 「スマホの充電切れちゃったの？ ジャ～あっ、はいこれつ。

モバイルバッテリー」

055 「使い終わったら、授業後にでも返してくれればいいから♪」

056 「うん♪ ジャあ…またあとでね」

//少し間

//授業終わり

057 「ああっ…お兄ちゃん、わざわざ返しに来ててくれたのね」

058 「貸したの完全に忘れてたよ わざわざ返しに来ててくれてありがとう♪」

059 「ん…お礼…？ いいよいよ 別にこれくらい」

060 「ほら、困った時はお互い様でしょ？」

061 「それに私たち、同じサークルなんだし」

062 「あ…でも…」

そこまで言うなら、今度何かおごってもらおうかな…♪」

063 「うん…じゃあ…またサークルでね」

■シチュ…充電器を借りる ここまで

064 「はい…カーットッ！」

065 「お疲れ様…おに～ちゃん♪」

066 「うん…♪ 割と出来てたと思うよ」

067 「今のと～つても自然な流れで、華穂ちゃんポイント高め♪」

068 「じゃ～あ～、今回学んだことは「甘え上手」になるだけだ、

日常生活でもちゃんと取り入れてみてね♪」

//少し間

069 「ところで、その…お兄ちゃん？ 今日も、ご褒美欲しいよね？」

070 「…う、そうだよね。やば…。ちょっと、恥ずかしくなつてきた…」

071 「はいはい、分かつたからあつ。

まつたくもうつ、お兄ちゃんてば強引なんだからっ」

■通常パート 終了

■Track 3 有料枠 シチュ..赤ちゃんプレイ プレイ内容..授乳手コキ

○場所..自宅・部屋(兄) 時間..夜(22時頃) 人物..華穂

072 「はあいつ…おにいちゃ～ん、

今日もレッスン頑張れて…えらいえらいでちゅね♪」

073 「んんっ? 話し方? 今日は甘え上手がテーマだったから、

お兄ちゃんのこと華穂が甘やかしてあげようかと」

//呆れ

074 「もう…お兄ちゃん…そういうトコだよ」

075 「よく分かんなくても、とりあえずノリに合わせる。

これコミュニケーションの基本だから」

076 「華穂:前にお兄ちゃんに教えたよね?」

まつたくもうつ、してるこっちの方が恥ずかしいんだからっ」

077 「はいはい、じゃあ続けるよ?」

//呆れ 終了

078 「は～いっ、ちゃんと復習できて…えらいでちゅね♪」

079 「それじや～あ～、お兄ちゃんは華穂の膝の上にゴロンってして～？」

■シチュ..ひざまくら

(SE ..膝上に寝そべる音)

080 「はあい、お兄ちゃんはあ…」

今から華穂のかわいいかわいい赤ちゃんでちゅよ～

080 「バブちゃん、ちゃんとお勉強できて…いい子いい子でちゅね～」

081 「そんなバブちゃんには～…華穂ママからのご褒美…あげまちゅよ～」

(SE ..衣擦れ音 & ブラをずらす)

082 「はいっ…バブちゃんはママのおっぱい、

い～っぱい…ちゅうちゅうしまちゅうね～」

// 華穂 兄に乳首を吸われる

// 感じ度合い・中 吐息・通常時よりは多め

083 「んんんうつつ♡ バブちゃん…えらいえらい♪」

084 「ママのおっぱい…元気にちゅうちゅう吸えてえらいでちゅ♪」

// 読み方・妹つぱい＝いもつぱい

085 「ママのおっぱいはあ… E カップありまちゅからね♪

ボリューム満点な妹つぱいでえ…たゞつぶり癒されてくだちやいね♪」

086 「あああんつ♡ バブちやあん、ちゅうちゅうつてするの、お上手でちゅ♪」

087 「華穂ママあ、乳首吸われて…気持ちいいでちゅよ♪」

// 華穂、次第に興奮してくる

088 「おっぱい…ちゅうちゅつ、おっぱいちゅうちゅう…はあ…はあ…はあ♡」

089 「妹のおっぱいちゅうちゅう、元気いっぱいにちゅうちゅうちゅう～つ」

090 「あれあれ～？ バブちゃん？」

おちんちん…おつきしてきちゃいまちたね～」

091 「バブちゃんたら…ママのおっぱいちゅうちゅうってしてえ、

興奮しちゃったんできゅねえ」

092 「いいんでちゅよ～？ バブちゃんはそのままあ、ああんっ♡

華穂ママのおっぱい、ちゅうちゅうしててくだちやいね～…はあ…はあ

//読み方・お手々//おてて

093 「ママはあ～…バブちゃんのおちんちん、しこしこ…しこしこ～って、

柔らかお手々でしごいてあげちゅからね～」

(SE .. 手コキ音 水気..なし 速度..ゆっくり ループ)

(SE .. ズボンをずらす音)

094 「大人おちんちん…しこしこ～、

ママのおっぱいちゅうちゅうしながら…しこしこ～」

//読み方..妹っぱい||いもっぱい

095 「ちゅつこちゅつこ…勃起おちんちんちゅつこちゅつこ～♪

おっぱいちゅうちゅう…妹っぱいちゅうちゅうちゅうちゅう♥」

096 「ああっ…ああっ…あんっ…ああっ…はあ♥」

097 「んううつ…ふうんんつ♥ はあ…はあ…バブちゃん、

赤ちゃんにしてはものすごくいやらしい吸い方しまちゅね～」

098 「ああんつ♥ ああっ…ああう…はああつ…んうつ、

マ…マあ、おっぱいたくさんなぶられてえ…あんうつ♥

ああっ…あんつ、気持ち…いいでちゅよ～…はあはあ♥」

//読み方..妹っぱい||いもっぱい

099 「おっぱいちゅうちゅう…はあ…はああ♥ 妹っぱいちゅうちゅうちゅう♥」

(SE .. 手コキ音 水気 .. 普通 速度 .. 普通 ループ 開始)

// 感じ度合い .. 中 ~ 強 喘ぎ声 .. やや強く感じている

100 「おちんちん…しこしこしこ、大人おちんちん…しこしこしこしこ~」

101 「はあ…はああつ♡ マ…マあ、ああんうつ♡ バブちゃんにい、

おっぱい元気に吸われてえ…感じちゃつてますう~」

102 「バブちゃんもおちんちんう、ああつ…ああつ♡

ヌチュッヌチュツつてしごかれてえ、気持ちいいんでちゅか~?♡」

103 「妹のおっぱいちゅうちゅうちゅうしながらあ、

ああつ…あんつ♡ ママの手でゴシゴシつてされてえ、

はあ…はあ…いっぱい感じちやうんでちゅか~?♡」

104 「おっぱいちゅうちゅうちゅう…おちんちんしこしこ~」 はあ…はああ♡」

105 「ママのおっぱいちゅうちゅうちゅう♡

バブちゃんおちんちん…しこしこしこしこお~つ♡」

106 「んふふつ♡ ママにはバブちゃんのおちんちんがあ、

ちやんと喜んでくれてるの：丸わかりでちゅからね♪」

107 「だつて…華穂はあ、バブちゃんのマ～マ、なんでちゅからあ～」

//次セリフ「お兄ちゃん…じやなかつた」の部分 一瞬、素が出る

108 「おちんちん…しこしこしこお♡ はあはあつ、気持ちいいんでちゅね～？」

お兄ちゃん、じやなかつた…バブちゃん～？」

//素が出るの終了

109 「今日はあ～…甘える練習なんでちゅからあ～、

華穂のおっぱい…い～っぱいちゅうちゅうしていいんでちゅからね～？♡」

110 「おっぱいちゅうちゅうちゅう～おちんちんちゅこちゅこつ♡」

111 「おっぱいちゅうちゅうちゅうちゅう♡ おちんちん…ごじ～じ～じ～じ～しつ♡」

(SE .. 手コキ音 水気 .. 多め 速度 .. 普通 ループ 開始)

112 「バブちゃん、おちんちんから我慢汁がどんどん溢れちゃいまちゅね♪」

113 「たくさん感じてる証拠でちゅねえ…バブちゃん…はあ…はあ♡」

114 「バブちゃんはあ…そのまま…なくんにも考えなくて…いいんでちゅよ♪」

115 「バブちゃんはただあ、ママのおっぱい…ちゅうちゅうって吸いながらあ、

はあはあ♡」

116 「妹に手でしこしこしこ…手コキされてえ、

い～つぱい気持ちよくなりまちょうね♪」

//読み方..妹つぱい=いもつぱい

117 「妹つぱいちゅうちゅう、お兄ちゃんのおちんちんしこしこ…はあはあ♡」

118 「華穂ママのおっぱいちゅうちゅう、

大人おちんちんしこしこしこしこ～♡」

119 「ああっ…バブちやあんっ♡ ああっ…ああんっ、

乳首ちゅうちゅうってえ…そんなに必死になつてえ」

//感じ度合い・強 喘ぎ声・とても感じている

120 「ああんっ♡ 乳首甘噛み出来てえらいでちゅね…バブちやあん♡」

121 「ママあ…バブちゃんのお口だけでえ…乳首感じちゃいまちゅよお♡

ああっ…あうっ…あああっ…はあはあ♡」

122 「ママの乳首ちゅうちゅう、はあ…はあ♡

おちんちんしごかれながら…ちゅうちゅうちゅう

123 「ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、ああんっ♡」

124 「バブ…ちやあん、ホントにいゝ赤ちゃんでちゅがあつ?

おっぱいちゅうちゅうつてするのが、いやらしすぎますうつ♡」

125 「んふふつ、バブちゃんう、もゝ射精我慢できなくなつちやいまちたかあ?

おちんちんう、さらに硬くなつてきまちたねえ～♡」

126 「バブちゃんが最後まで気持ち良く射精できるように、

ママ、おちんちんしこしこがんばっちゃいますねえ♡」

(SE .. 手コキ音 水気 .. 多め 速度 .. 速め ループ 開始)

127 「しこしこ、しこしこしこ～♡」

128 「はあはあ♡ バブちゃんのおちんちん、

ママの手の中できもちいいつ、気持ちいいって、ビクビクしてまちゅ～」

129 「しこしこしこ、しこしこしこしこ～♡」

130 「ああっ、ああっ、はあはあ♡ ママのおっぱい、

も～つといっぱいちゅうちゅうしてえ～」

131 「しこしこしこおつ♡

おつきな勃起おちんちん、しこしこしこしこ～つ、はあ、はあ♡

132 「バブちゃんのえっちなおつゆがあ、天然の潤滑油になつてえ♡

しこしこするスピード、どんどん速くなつていきまちゅね～♡」

133 「しこしこ、しこしこしこ～つ♡ はあはあ♡」

134 「ほお～らあ～、バブちゃんのおちんちん、もう限界でちゅね～♡」

135 「ママに授乳手コキされながらする射精はあ～、はあはあ♡

きつとお、ものすごくつ、気持ちいいでちゅよ～、はあ、はあ」

136 「が～んばれっ、バブちゃんっ、が～んばれっ♡」

137 「おっぱいちゅうちゅう、おちんちんしこしこ～つ

おっぱいちゅうちゅう、おちんちんしこしこ～つ♡」

138 「バブちゃんっ？ もうイッちゃいそう？」

139 「ふふつ♡ いいでちゅよ～、ママにバブちゃんの真っ白い精液、

たくさんかけてくだちや～い」

140 「ママはあつ♡

バブちゃんがちや～んと射精するまで、こうしてしこしこ～つて、

ずっとしてあげちゅからねえ♡？」

141 「バブちゃんは、ママのおっぱい、たくさんちゅうちゅうしながらあ、ああつ、ああつ、ああうつ♡ はあはあ♡」

142 「ドロドロした濃厚な精液い、いっつぱい射精して、

華穂ママに元気よくびゅっびゅってするこ、見せてくだちやーい

143 「ほーらあーっ♡ 我慢しないでいいんちゅよお?♡」

144 「はあはあ、バブちゃん? ああつ、ああつ、ああんっ♡」

145 「イつて? イつてえつ?♡

ママにバブちゃんのいやらしいミルク、いっつぱいかけてくだちやあい!

(SE .. 手コキ音 水気 .. 多め 速度 .. 速め ループ 終了)

// 射精

(SE .. 射精音)

146 「ああああああつつ! ? ああつつ、あああーつ、出てるう♡♡」

147 「バブちゃんの精液い、いっぱいびゅっびゅしてるうーつ♡」

148 「びゅるつ、びゅるるる～っ♡　どぴゅつ、どぴゅつ、びゅるるるる～♡」

149 「ああっ♡　ああっ、ああっ、はあはあ♡

おっぱいちゅうちゅうって吸いながらあ、

い～っぱい赤ちゃんミルク出してるバブちゃん、かわいいでちゅ～」

//射精後　余韻　以降トラック3最後まで

150 「はああっ、はああっ、はああっ♡

バブ：ちやあん♡　たくさんミルクびゅつびゅつて出せて、えらいでちゅね～」

151 「えらいえらい、精子いっぱい出せて、えらいえらいでちゅ～♡」

152 「バブちゃん？　射精して疲れちゃったでしょ？」

153 「このまま、華穂ママのお膝でおねんねしていいでちゅからね～」

154 「ママはあく、いつでもバブちゃんのママなんでちゅからあ♡」

155 「ほ～ら、大きなあくび～　バブちゃん？　おやすみなさい♡」

//少し間(3~5秒)

//兄 眠りについた後

156 「お兄ちゃん…ホントに華穂の赤ちゃんみたいに素直に甘えてきて、

かわいかつたでちゅ♪」

157 「ああ…間違えた、かわいかつたなあ♪」

158 「お兄ちゃんが元気ない日はあ、またしてあげよっかな♪」

159 「ふふつ♡ おやすみ、お兄ちゃん♪」

■Track 3 終了

■華穂ちゃんレッスン Track 4 ~女の子とデートしよう~

○場所..自宅・部屋(兄) 時間..夜(21時頃) 人物..華穂

001 「お兄ちやあん♪ 今日の華穂ちゃんレッスンは～…デートの予行練習…だよ」

002 「華穂があ…お兄ちゃんの服装…コーディネート、したげるね」

//少し間(3～5秒)

003 「うんっ、お兄ちゃんには少しカジュアルな服装が似合うと思うよ♪」

004 「お兄ちゃんはその服着て、明日華穂とデートするのよ」

005 「そうねえ～…本番デートっぽくしたいから、現地集合にして～…」

006 「ついでにお昼も一緒に食べよっか♪」

007 「だつたら～、11時くらいがちょうどいいかな～」

008 「場所は～…うんつ、じゃあ…ハチ公前で合流しよっか」

009 「お兄ちゃん、遅刻…しないようにね」

010 「普通デートで女の子待たせるなんて…あり得ないんだからっ」

011 「お兄ちゃんは～…んん～、まあ10分くらい前には着いてるぐらいがちよう
どいいかもねっ♪」

//シーン切替 翌日

○場所…渋谷ハチ公前 時間…11時過ぎ

(SE .. 足音 フェードイン)

//華穂、小走りで近づいてくる 次セリフ、編集でフェードイン

012 「お兄ちゃん、お待たせ～…待った～？」

013 「それならよかつた♪ 待ってるのも疲れるしね」

//次セリフから指示があるまで、耳もとで話す感じで、小声

014 「お兄ちゃん、本当は1時間前には着いてたよね」

015 「華穂：お兄ちゃんが早めに家出てったの知ってるんだから」

016 「でも、そういうところ…華穂的にポイント高いかも♪」

017 「それだけ、お兄ちゃんが華穂とのデート…

楽しみにしててくれた～ってことだから」

//耳もと 終了

018 「それじゃ、お兄ちゃん、ご飯行こっか♪」

019 「手…つなごっ？」

020 「そう…指絡めて、恋人繫ぎ」

021 「恥ずかしいって、お兄ちゃん…華穂で練習しておかなくていいの～？」

「いざつていう時、お兄ちゃん対応出来ないでしょ？」

「ほーらー、はーやーくーっ」

(SE .. 手をつなぐ)

024 「はいっ、よろしい～…そそう、

後は女の子の歩くスピードに合わせるのもポイントね、忘れないようになつ

(SE .. 足音(二人分) フエードアウト)

二、シーン切替(時間経過)

「はああああ、美味しかったあ」

026 「お兄ちゃん、ご馳走さま〜」

＼＼次セリフから指示があるまで、小声（独り言）

「これは練習だし：華穂も半分出す～って言つてゐるのに」

028 「お兄ちゃんってば、変なとこ頑固なんだからっ」

//小声(独り言) 終了

029 「んっ？ 何でもない…何でもない」

030 「それよりお兄ちゃん、次は…どこ行こつか？」

031 「華穂？ 華穂はね、お洋服が見たいなあ」

032 「別に何か欲しいってわけじゃないんだけど」

033 「そ、そ、ウインドウショッピング！ お兄ちゃんよく分かつてるじゃん♪」

//次セリフ 小声(独り言)

034 「華穂はお兄ちゃんと一緒にいれば、それでいいんだけど」

//小声 終了

035 「じゃあ、お兄ちゃんは今日一日・華穂の付き添い役けつていい！」

036 「華穂……お洋服たくさん見ると思うけど、

ちゃんと付いてこなきや……やだよ……お兄ちゃん」

(SE .. 足音(二人分) フェードアウト)

//シーン切替

○場所 .. 渋谷(外) 時間 .. 夕方

037 「はあああ、たくさん見たあ」

038 「といつてもお兄ちゃんと一緒だから、下着までは見てないけどね」

//次セリフ以降 指示あるまで、あざとく

039 「ねえ、お兄ちゃん？ 華穂のお……し・た・ぎ…選んでくれない？」

040 「華穂お、最近また大きくなっちゃったみたいでえ」

041 「今着けてるのも、少しきつきつなんだあ～」

//あざとい演技 ここまで

042 「つて、まあ…冗談なんだけどね」

043 「ああ～つ、でもおっぱい育つてるのは…ほんとだけどね」

044 「ああ～つ！ お兄ちゃん、今…華穂のおっぱい見て想像したでしょ～♡」

045 「いや、絶対妄想したよね？」

046 「華穂、そういうの分かつちやうんだあ」

047 「だつて～…お兄ちゃんの妹だから♪」

//次セリフから兄を誘惑 あざとく 指示あるまで継続

048 「それでお兄ちゃん、華穂お～…たくさん歩いて疲れたからあ、

どこかで休憩していきたいなあ～」

049 「カフエ～？ うん…今…華穂はあ～、そんな気分じゃありません」

050 「女の子が休憩したいって言つたら

……賢いお兄ちゃんならもう…分かるよね？」

051 「じゃ…行こっか…お兄ちゃん、きゅ・う・け・い♡」

//あざとい演技 ここまで

■通常パート 終了

■Track 4 有料枠 プレイ内容..本番セックス(正常位)

○場所..ラブホテル 時間..夕方 人物..華穂

//読み方..視姦||しかん

052 「ねえ、華穂おつきお兄ちゃんにオスの目で視姦されてからあ、
子宮キュンキュンしちゃってるのぉ」

053 「膣キュンしちゃってるのぉ」

054 「だから…ね？ お兄ちゃん、このまましちゃお？」

055 「華穂たち…兄妹だけど、それ以前に年頃の男と女だよ？」

056 「華穂だって、お兄さんに興奮…するんだよ？」

057 「いい…よね…お兄ちゃん」

//少し間(3~5秒)

(SE .. 脱衣音)

058 「うわあっ、お兄ちゃんのおちんちん…もうビンビンになつてるう」

059 「それにこんなに脈うつてえ～…もううつ…妹とする気満々じや～ん」

060 「お兄ちゃんも華穂とそういうこと…したいんだあ…あはあっ♪」

061 「じゃ～あ…華穂…横になるね？」

(SE .. ベッドに横になる音)

■ シチュ.. 正常位

062 「お兄ちゃん…こっち来て、上から…して?」

063 「うんっ、そこ…華穂のおまんこ…お兄ちゃんの妹のおまんこお…

はあ…はあ

064 「今日一日お兄ちゃんとデートして…たくさん優しくされて、

もう…糸引いちやつてるの」

065 「おちんちん入る準備…出来ちゃつてるのぉ…はあ…はあ」

066 「お兄ちゃんが今…亀頭当てるとこ、うん、

そう…そこ…おちんちん入る穴…だよ」

//読み方..挿れて＝いれて

067 「ねえ…挿れて？ お兄ちゃん」

068 「お兄ちゃんのおつきなおちんちんでえ…華穂のおまんこ、

いっぱい気持ち良くして」

069 「華穂…まだ処女だけど、初めてはお兄ちゃんとしたい」

070 「きて？ お兄ちゃん……」

(SE .. 挿入音 深度 .. 浅い)

071 「んんんううつ！！ お兄ちゃんのが…入つて…きたああつつ！？」

072 「あああああつ、おつきいのがあ…入つてくるのぉ」

073 「お兄ちゃんのが…華穂の処女おまんこの中…ゲイゲイってしながらあつ…
きてるのぉ」

074 「いいよおつ…お兄ちゃん…華穂をお兄ちゃんの女にして」

075 「処女膜おちんちんで突いて、華穂の記憶にお兄ちゃんととの初体験、

刻みつけてえ～つっ！」

//次セリフで破瓜 ※痛がり過ぎない程度で

(SE .. 挿入音 深度 .. 深い)

076 「あああつ？ んうううつ！ んうううううううつつつ！」

077 「お兄ちやあ～んっ！ はあ…はあ…」

078 「お兄ちゃんのおちんちん、全部入ってるよお～」

079 「華穂の子宮まで…お兄ちゃんのが届いちやつてるよお～」

080 「はあああつ…お兄ちやあ～ん、好きい～…好きい～」

081 「華穂～…こうしてお兄ちゃんとお…はあ…はあ…」

「ず～つと繋がりたかったの…ほんとだよ？」

082 「ほんとはお兄ちゃんに恋人なんか作って欲しくなくて、

「華穂のこと…もつと見てて欲しいよお～」

083 「ねえ…お兄ちゃん、ちゅ～…しょ？」

084 「華穂はお兄ちゃんに…ファーストキス…あげたい」

//キス 水氣..普通 速度..ゆつくり

085 「んうつ…ちゅつ…ちゅつ…ちゅ…ちゅつ、

んふうつ…ちゅつ…ちゅつ…ちゅつ…ちゅつ…ちゅつ「

086 「ふふつ、しちやつたあ♡ お兄ちゃんとキス…それも何回もお」

087 「んふうつ…ちゅつ…お兄ちゃん、好き～つ♡」

//キス 水氣..普通 速度..ゆつくり

088 「んうつ…ちゅつ…ちゅつ…ちゅつ…ちゅつ…はあ、

ちゅつ…ちゅつ…ちゅうちゅう…ちゅぱあつ「

089 「はああああ…お兄ちゃん…ちゅきい～、いっぱいちゅき～」

//読み方..口下手=くちべた

090 「お兄ちゃんの口下手なところも…本当は優しいところも、顔も…性格も…
華穂のこと…妹のこと…ちゃんと大事にしてくれるどこも…全部好きい～」

091 「お兄ちやん…お兄ちやん、お兄ちやん…お兄ちやんっ♡」

092 「華穂～…もう大丈夫だからあつ、してえつ…パンパンしてえつ？」

093 「お兄ちやん…優しいから待っててくれたんだよね」

094 「ありがとう…お兄ちやん」

095 「でも…もう大丈夫だからあつ、あとはお兄ちやんが好きなように動いて」

096 「それで…華穂のこと、いっぱい愛してえつ！」

(SE .. 抽送音 水気 .. 普通 速度 .. ゆっくり ループ)

//感じ度合い .. 弱 喘ぎ声 .. やや感じている

097 「ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…華穂、おつ…

お兄ちやんに突かれちゃつてるうううつ

098 「ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ、

パン…パンつて…されちやつてるうううつ…！」

099 「ああっ…ああっ…ああっ…あんっ…お兄ちゃん…お兄ちゃん…」

//読み方・擦れる||こする

100 「お兄ちゃんのおちんちん…華穂の中でズンズンしてえつ、

おまんこ…いっぱい擦れちゃってるのぉつ」

(SE .. 抽送音 水気 .. 普通 速度 .. 普通 ループ)

//感じ度合い .. 中 喘ぎ声 .. 感じている

101 「あああっ…ああっ…ああっ…ああっ…はああ、

んんうつ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああんうつ

102 「お兄ちゃん…のぉつ…おつきいい、ああっ…ああっ…ああんっ、

はああ、あああっ…硬くてあつついのぉつ…ああっ…ああっ…ああっ…ああんうつ」

103 「お兄ちゃん…出入りするたびいつ、華穂の膣…えぐつてえつ…

ああっ…ああっ…あああつ、ズリツズリツとしてえつ…

ああっ…ああっ…中で響いてるのぉつ」

「ああっ…ああっ…ああっ…ああっ、ああっ…あああっ♥」

「相手、お兄ちゃんなのにいつ、ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ、

華…穂おつ…お兄ちゃんの妹なのにいつ、ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ」

「お兄ちゃんにい…おまんこされてえつ…ああつ…ああつ…ああつ…あああつ、

気持ち…いいよおつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ♥」

107 「大好きな、お兄ちゃんとおつ・ひとつになれてえつ・嬉しいよおつ。

ああつ……ああつ……ああつ……ああつ……ああうつ♥

「おにいちやうんつ？ こつちきてえつ、ああつ…ああつ…ああつ、
そ…うううつ…身体倒してえつ…華穂のおっぱいも可愛がつてえつ！」

「兄が身体を華穂の方へ倒し、おっぱい揉みながら、ピストンは継続

(SE .. 抽送音 水氣 .. 普通 速度 .. 普通 ループ)

／＼感じ度合い..中～強 喘ぎ声..やや強く感じている

109 「ああんう♡」ああつ……ああつ……ああつ……

お兄ちゃん、のおつ…大好きなあ…妹のおっぱいだよお?」

110 「いつもお兄ちゃんがあ…チラチラって見てえつ、

勝手に興奮しちやつてたおっぱいいつ！」

111 「ああつ…ああつ…お兄ちゃん…おっぱい触るの…激しい、よおつ…

ああつ…ああつ…ああつ…ああんつ」

112 「そんなに華穂のおっぱい…揉みしだきたかつたんだあつ?♡」

113 「ああつ…ああつ…ああつ…ああんつ♡ そう、だよねえつ?

童貞だったお兄ちゃんは、生でおっぱい揉むの初めてだもんねえつ?」

114 「ああつ…ああつ…ああつ…そこおつ♡ 乳首いつ…はあは、

乳首はあつ…はううん♡ 刺激強いのおつ…感じすぎちやうの o!」

115 「ひや…ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああんつ！
乳首いじめられながらズブズブされるのおつ…

ああつ！ ああつ！ えっちすぎだよおつ」

116 「ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！

お兄ちゃんつ…しゅきい…しゅきい♡」

117 「華穂を…お兄ちゃんの彼女だと思つてえつ…もつといっぱい突いてえつ！」

(SE .. 抽送音 水氣 .. 多め 速度 .. 速い ループ)

//感じ度合い .. 強 喘ぎ声 .. とても感じている

118 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！」

ふふっ…華穂が彼女だつて言つたらあつ…腰振るの速くなつたあつ！

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああうっ！」

119 「いい、よおつ？ お兄ちゃんうつ…華穂、はあつ…ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああうつ！」

今だけはあつ…ああっ！ ああう！ お兄ちゃんの彼女おつ！」

120 「ああっ！ ああっ！ あああっ！ だか…らあつ、

華穂のこと、お兄ちゃんの彼女だと思つてえつ…

思いつきり突いて…気持ちよくなつていいんだよおつ？」

121 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！」

はああっ、ああっ！ ああっ！ ああんうつ！」

122 「いいっ！ 気持ちいいよおつ？♥ お兄ちゃんの本気セックスうつ！

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！」

123 「華穂もおつ！ オス丸出しのお兄ちゃんにいつ！」

本気で求められてるって思つたらあつ！

子宮：キュンキュンしちやつてえ：愛液、とまらないよおつ！♥」

124 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！」

おにいちゃあんっ！♥ お兄ちゃん！ お兄ちゃん！ お兄ちゃあんっ！♥」

125 「もう、イきそなんだよねえつ？」

せーえき、ぴゅつぴゅつて出ちやいそなんだよねつ？♥」

//読み方..膣内||なか

126 「いいよおつ？♥ 出してえつ！」

妹の膣内あつ、お兄ちゃんの孕ませ精液で全部満たしてえつ？♥」

127 「大丈夫うつ！ 今日は、安全な日だからあつ！」

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！」

128 「だか…らあつ！ 出してえつ？♡ 妹の子宮にいつ！

お兄ちゃんの子種、いっぱい注ぎ込んでえつ？♡」

お兄ちゃんの子種、いっぱい注ぎ込んでえつ？♡

129 「ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああんつ！

はあつ！ ああつ！ ああつ！ ああんつ！」

130 「華穂、もおつ！ 何かおつきいのくるのおつ！

ああつ！ ああつ！ ああんつ！」

131 「お兄ちゃんのこと想つてえつ…一人でするときよりも、

気持ちいいのきちゃうのおつ！♡」

132 「ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああんつ！

ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！

ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああううつ！」

133 「ダメつ！ ダメ！ ダメええつ！ ああつ！ ああつ！ ああんつ！」

134 「もうつ、いくつ！ イくつ！ イくうつ！♡」

(SE .. 抽送音 水気 .. 多め 速度 .. 速い ループ 終了)

(SE .. 射精音)

二 次セリフ 華穂 絶頂

135 「イっくううううううつつつ！ ♥♥ んんんんうううつつ♥♥」

／＼絶頂後の余韻を持たせる 以降、通常よりは少しゆっくり目で話す

136 「はあああ…はああつ…はああつ、ああつ、はああ…はあああ♡」

＼読み方・臍内／なか

「お兄ちゃんのが…腔内で出てりゅう、

あつつい精液があ・子宮に届いちやつてりゅう♥」

138 「あああつ…あああつ…んんんうつ
はああ…はああ…はああつ…はあああ」

139 「お兄ちゃんにい…中出ししてもらえてえ、

華穂も…すつごい気持ちいいよお♡」

140 「中でお兄ちゃんのせーえきが、じわあ～って広がってるう♡」

141 「はああ…はああ…はあああ…ず～と…お兄ちゃんというしてたいよお…」

//キス 水氣..普通 速度..ゆつくり

142 「お兄ちゃんう♡ んうつ…ちゅうつ…ちゅつ…ちゅう…ちゅう…んう、

ちゅつ…ちゅう…ちゅぱあつ」

143 「お兄ちゃんが望むならあ…またしたげるからあつ、ちゅうつ…んう♡
してる間だけでも…華穂のこと、

お兄ちゃんの彼女にしてくれると…嬉しいなあ…んう…ちゅつ♡」

144 「もう少し…」で休んでから、おうち…帰ろつかあ♡」

145 「好きだよ…お兄ちゃん、ちゅつ♡」

■Track 4 終了

■華穂ちゃんレッスン Track 5 ～恋人と愛し合おう～

○場所..玄関 時間..夕方

//朝、デートに送り出したはずのお兄ちゃんが、早めに帰つてくる

(SE .. 玄関のドアが開く音)

001 「あれれっ…どうしたの…お兄ちゃん、こんなに早く帰つてくるなんて」

002 「そんな真剣そうな顔して…もしかして…デート…失敗しちやつた?」

003 「うーん…そうじゃないの? むしろ結構いい感じだつた?」

004 「なら…どうしてこんな早く帰つて来ちやつたわけ?」

//華穂、兄に抱き寄せられる

(SE .. 抱き寄せる)

005 「ええっ…お兄ちゃん…一体どうしたのよ、

急に抱き締められても…華穂…どうしたらいいか…分からぬいよ」

006 「お兄ちゃん、これってそういうことで…いいのかな…」

007 「華穂…悪い子だから、すごい都合の良い解釈しちゃうよ?」

008 「お兄ちゃんが華穂のこと好きって、勘違い…しちゃうよ?」

//キス 水気..普通 速度..ゆっくり

009 「んうつ♡ ちゅつ…ちゅう…ちゅつ、はあ…ちゅつ…ちゅう…ちゅぱあつ」

010 「はああ、お兄ちゃんつ♡ ん…ちゅう、ちゅうちゅう…はあ…はあ」

011 「お兄ちゃん…華穂、もう部屋まで我慢…できないよ」

012 「パパとママ…明日まで帰って来ないしい、んうつ…ちゅつ♡

「こで…しちやお?」

//キス 水気..普通 速度..普通

013 「んうつ♡ ちゅつ…ちゅう…ちゅ、ちゅう…お兄ちゃん…お兄ちゃんつ♡」

014 「華穂ね、んう…ちゅつ…前…お兄ちゃんに抱いてもらつた時から、

あの時のこと…ずっと忘れられなくて…ちゅう…ちゅつ」

015 「お兄ちゃんのこと…想つて、その…何回もしちやつてるの」

016 「ふふっ…お兄ちゃんもそうなんだあつ?♡

んう、ちゅつ…ちゅ…ちゅうちゅう

017 「お兄ちゃんと華穂…両想いだあつ♡

んう…ちゅつ…ちゅつ…ちゅう…はあ…はあ

//読み方..今朝||けさ

018 「今朝もね…んちゅつ…ほんとは…寂しかつたんだよ、

お兄ちゃんをデートに送り出すの」

019 「お兄ちゃん…ちゅつ、こんなにかつこよくなつてえ、

家族のひいき目なしに…んちゅつ…ちゅうちゅう…かつこいいからあ♡」

020 「華穂にはこんな優しいお兄ちゃんがいるんだあつて思うと、

んう…ちゅつ、妹として嬉しいんだけどお…ちゅつ」

021 「毎日頑張るお兄ちゃんのこと見てたらあ、んう…ちゅつ♡」

022 「いつの間にか…お兄ちゃんのこと、

ちゅつ…ますます好きになつちやつたんだもん、

んう…ちゅつ…ちゅうちゅう…ちゅぱあつ♡」

023 「こんなのおかしいよね？ 兄妹なんだけどね…華穂とお兄ちゃん」

024 「でも…お兄ちゃんのこと、男の人として好きになつちやつたあ」

025 「お兄ちやあん♡ 華穂を…んう…ちゅつ…ちゅう、

お兄ちゃんの彼女にしてくれるう？」

//少し間

026 「ふふっ♪ …そつか、華穂とお兄ちゃん、両想いなんだあ♡」

027 「んうつ…♡ ちゅつ…ちゅう…ちゅう、おにいちゃ～ん、

しゅきい♡ …ちゅつ…ちゅう」

028 「お兄ちやあん、んう…ちゅうちゅう、華穂のこと…抱いてえ？」

029 「華穂のことお、お兄ちゃんの1番にしてえ？♥ ちゅつ…ちゅう」

030 「もう…他の女の子のこと…考えられなくなるくらい、

ちゅつ…ちゅうちゅう…華穂のことお兄ちゃん色に染めていいからあつ

031 「んう、ちゅつ…ちゅつ…ちゅつ…好きい♡ 大好きだよ…お兄ちゃん♡」

■シチュ..お兄ちゃん&お兄ちゃんと結ばれて本気セックス プレイ内容..恋人セックス(正常位)

○場所..玄関 時間..夕方

032「お兄ちゃん…今日の華穂ちゃんレッスンはあ、恋人と愛し合うこと…だよ♡」

033「お兄ちゃんととのエッチ、

流石にみんなに見せるわけいかないから…限定公開だけどお

034「お兄ちゃん、んう♡ ちゅつ、好きい…大好きい♡」

035「華穂お…お兄ちゃんには幸せになつてもらいたいから、

これまでモテるためのテクとか…色々教えてきたけどお、

んう…ちゅつ…ちゅつ…ちゅぱあつ♡」

036「そんなのお…ちゅつ、お兄ちゃんのことが好きじやないとお、

わざわざしないよお♡」

037「お兄ちやあん…ちゅきい…いっぱいちゅきい♡」

// ディープキス 水気..普通 速度..普通

038 「んれえ…れるれるれる…ちゅるつ、れる…れるれろお…ちゅぱあつ」

039 「んふふつ、おにいちやあん…好き…好きだよお」

040 「れろお…えろえろえろお…ちゅるう、んう…れるれるれろお…れるちゅつ」

041 「お兄ちやあん…んう…ちゅつ…さつきから華穂の太ももにい、

硬くてあつついの当たつてるよお」

042 「んうちゅう…れるれろれろお、ちゅる、

れるれる…れろれろれろお…ちゅぱあつ」

043 「華穂もお…んう…ちゅつ…お兄ちゃんに求愛されてえつ、

ちゅうちゅう…膣キュンしちやつてるのお」

044 「お兄ちやあん、んうちゅう…ちゅうちゅう…早く…挿れてえ?♡」

(SE .. 脱衣音 二人分)

//次セリフに合わせ、キスしながら脱ぐ

045 「んう…ちゅつ…えるれるるう、ちゅる…れるれるれる」

046 「華穂お…お兄ちゃんと…一つになりたいのぉ♡」

はあはあ…おちんちん…華穂にちょうどいい?」

(SE .. 挿入音)

047 「んうううううつつ！ お兄ちゃんのが、入つてきたあつ♡♡」

//読み方..腔内||なか

048 「華穂の腔内あ、お兄ちゃんの形…教えこまれちゃつてえ♡」

049 「お兄ちゃん専用の妹おまんこになっちゃつてるよお♡」

(SE .. 抽送音 水気 .. 普通 速度 .. 普通 ループ)

//感じ度合い .. 普通 喘ぎ声 .. 感じている

//以降、通常表記セリフも突かれながら話す。指示あるまで継続

050 「おにいちゃあん…いいよお…いっぱい笑いてえつ?♡

華穂のおまんこ…おちんちんでいっぱいにしてえつ」

051 「ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ♡

んうっ…ああっ…ああっ…ああっ…あんっ♡」

052 「はああ…はああっ、お兄ちゃんつたらあ…いきなり…激しいんだからあつ」

053 「ああっ…ああっ…ああっ…あああっ、いい…よおつ?
お兄ちゃんうつ、ああっ…ああっ…ああっ♡

華穂のことおつ…好きなように…犯してえつ?」

054 「ああっ…ああっ…ああっ…ああっ、華穂…ねえつ?

お兄ちゃんから迫られるの…好きなのおつ、

ああっ…ああっ…ああっ…あんうつ♡」

055 「お兄ちゃんが…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ♥

華穂のこと女としてみてくれてるんだあつ、って思うとお、

お股キュンキュンしちゃうううつ！」

056 「ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ♥ お兄ちゃんう…おにいちゃんうつ」

057 「ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…はあつ、

ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…あんうつ」

//読み方..膣内||なか

058 「カリ首…があつ…華穂のおまんこ…ズンズンするたびいつ、

膣内の色んなどこ擦れてえつ…ああっ…ああっ…ああっ♥

気持ちいいトコ…当たつてるのぉつ」

(SE .. 抽送音 水気 .. 多め 速度 .. 速め ループ)

//感じ度合い .. やや強 喘ぎ声 .. やや強く感じている

059 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！ 速くなつたあつ♡

ああっ、ああっ！ お兄ちゃん！ お兄ちゃんう！

イきそうなの？ 精子、出ちやいそうなおつ？』

060 「いいよつ？ このまま出してえつ？♡

華穂の子宮にお兄ちゃんのちようだあいつ！」

061 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！

華穂、お兄ちゃんをもつと近くで感じたいのおつ！』

062 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ だか…らあつ、

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

中に出してえつ！ お兄ちやあんうつ！』

063 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！♡

華穂もおつ！ もう、イきそうなのおつ』

064 「お兄ちゃんと一緒にイッちゃいそうなおつ！♡」

065 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

ねえ？ お兄ちゃんう、ちゅう、ちゅうしながら、一緒にイコおつ？」

//ディープキス 水気..多め 速度..速め

066 「んう、ちゅう、れるれる、れるれろれろお、ちゅるう♡

ちゅうちゅう、れるつ、れるれろれろお、れるちゅつ」

//キス中で口塞がり状態なので、喘ぎ声も「んんっ！」で表記

067 「んんっ！ んんっ！ んんっ！ んんうつ！

ちゅう、えるれるれるう♡ んんっ！ んんっ！ んんうつ！」

068 「ん…ちゅう♡ れるれるれろお、ちゅう♡ れるれろつ、ちゅるるるつ♡」

(SE .. 抽送音 水気..多め 速度..速め ループ ここまで)

//以降、通常表記セリフも突かれながら話す。 終了

//射精(一回目)

(SE .. 射精音)

//華穂 絶頂(一回目)

//イッてる最中もキスは継続なので、口塞がり状態

069 「んんんんんううううつつ！♡♡ んんんうつ！ んんつ！ んんんうう♡」

070 「ん…う♡ ちゅうちゅう…れるれるれるう、

れるれる…じゅるるつ、ちゅぱあつ♡ はあ…はあ…はああ♡」

//読み方・膣内||なか

071 「ふふっ、お兄ちゃんもお、華穂の膣内でイッちゃったねえ…はあ…はあ♡」

072 「兄妹なのにい♡ 華穂、またお兄ちゃんに中出しされちゃつたあ♡

はあ…はあ…はあ

073 「お兄ちゃんう、おにいちやん…おに～ちやあん♡

んう…ちゅつ…えるれる、ちゅるる…ちゅつ…ちゅぱあつ♡」

074 「ふふっ…お兄ちゃんのおちんちん、まだ膣内でおつきいまだよ？」

今もビクンビクンって激しく脈打ってる♡「

075 「ねえ…もう一回しよ?♡

もっと激しく、華穂が…氣~失つちやうくらい、

お兄ちゃんとの恋人記念日に、恋人兄妹で本気セツクス…したい♡」

076 「だから…ね？ お兄ちゃん、華穂のこと…いっぱい愛して?♡」

(SE .. 抽送音 水氣 .. 多め 速度 .. 普通 ループ)

//感じ度合い .. 強 喘ぎ声 .. 強く感じている

//以降、通常表記セリフも突かれながら話す。指示あるまで継続

077 「ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…イッたばっかりの敏感おまんこおつ、

ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…気持ち、いいよおつ♡

ああっ…ああっ…ああんつ♡」

078 「おまんこからあ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ♥ 愛液…溢れてきちゃうよお♥

ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ♥」

079 「おちんちんもお…さつきより…もつと硬くなつてえつ♥

ああつ…ああつ…ああつ…ああんうつ♥」「

080 「妹おまんこお…ああつ、ああつ、ズンズンつて…いっぱい笑いてくるのおつ、

ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…はあ…はああ♥」

081 「お兄ちゃんのおちんちんつて…おつきいからあつ、ああつ…ああつ…ああつ♥

一番奥まで届いてるのおつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ♥」「

082 「ズプつズプつて突かれるたびいつ、ああつ…ああつ…ああつ…ああつ♥

子宮に当たつてるのぉつ♥ ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！」

(SE .. 抽送音 .. 速度 .. 速め ループ 開始)

// 感じ度合い .. 強 喘ぎ声 .. とても感じている

083 「ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！ はや、いいいつ♥

また、射精しちゃいそうなんだあつ？♥」

084 「妹のこと、孕ませるためにいつ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！」

085 「赤ちゃん汁、注ぎ込む準備始めちやつてるんだあつ？♡

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ はああ、はああつ「

086 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ お兄ちやんうつ！

いいよおつ？♡ このまま出してえつ？♡

妹の子宮にいつ！ お兄ちゃんの子種ちよだいいつ♡

087 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

お兄ちゃんうつ！ お兄ちゃんうう♡♡

088 「ああっ！ ああっ！ あつ！ ああっ！ ああんつ♡」

089 「華穂、もおつ！ お兄ちゃんに子宮う、グリュグリュ突かれてえつ！

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ♡

またあつ、アクメきちゃうよおつ！」

090 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ はあつ！

ああっ！ ああっ！ ああっ！♡♡

091 「あはあつ♡ おちんちん、もう限界なんだあつ？♡ ああつ、ああつ♡

パンパンに膨らんでえつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！」

092 「もう精子でるうつ！ いっぱいゅつびゅして、妹のこと孕ませるつてえつ、

射精おねだりしてるよおつ？ ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！♡」

093 「いいよおつ？ お兄ちゃん、一緒にイこおつ？♡」

妹に種付けしてえつ、タマタマの精液出しきつちやお？♡」

094 「ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああんつ！

華・穂おつ、お兄ちゃんに中出し射精してほしいなあつ！

かつこいいお兄ちゃんの姿、もつと見せて欲しいなあつ！」

095 「ああつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！ あああ～つ♡

ダ・メえええつ！ 華穂もういくうつ！ また、いつちやうからああつつ！」

射精（二回目）

(SE .. 射精音 次セリフ、タイミング合わせる)

華穂
絶頂
(二回目)

0
9
6
—ああつ
♥
ああつ
♥
ああつ
♥
ああつ
♥
ああつ
♥
いくつ！
いくうつ！

以降、通常表記セリフも突かれながら話す。

097 「あああつ♥ あああつ♥ はああ…はああ…はああつ♥」

(SE .. 抽送音 水気 .. 多め 速度 .. 速め ループ 終了)

『絶頂後』余韻に浸る。以降、トラック終了までゆっくり目で話す

098 「お兄ちやあんうう♥ またあ・イつちやつたねえ?♥ はあ・はあ♥」

099 「子宮にお兄ちゃんの精液、びゅるびゅるって直接注がれてるの分かるよお♡

はああ…はああ
〔

100 「お兄ちゃんの精液、膣内でじわあつて広がってるう♡

はああ…はああ…はああ♡「

101 「ねえ…お兄ちゃん、ちゅーしょお？♡」

はああ…はああ…はああ♡「

//キス 水気..普通 速度..ゆっくり

//愛を確かめ合うように

102 「んうう…ちゅつ…ちゅう…ちゅるう…ちゅうちゅう、んう～♡

ちゅつ…ちゅつ…ちゅ…ちゅばあつ♡ はあ…はあ♡「

//恍惚とした表情

103 「お兄ちゃあん、んう…ちゅうう♡ 華穂のこと…好きい？」

104 「んふふ～ 知つてるう♡ んう、ちゅうちゅう…ちゅう…ちゅばあつ♡」

105 「華穂もお兄ちゃんのこと…大好きだよお？♡

ちゅつ…ちゅう…ちゅるつ、ちゅう…ちゅ…ちゅうちゅう…ちゅばあつ」

106 「明日でパパとママ…帰つてきちゃうけど、ちゅっ♡ また…しょーね?♡」

107 「華穂お、こんな気持ちいいこと…我慢できないからあ♡」

108 「ちゅっ…ちゅう…ちゅうう♡

もちろん、パパたちにはバレないようにだけどお♡

ちゅっ…ちゅっ、ちゅうちゅう…ちゅるるつ…ちゅぱあつ♡

109 「それでお兄ちゃんが学校卒業したらあつ、二人で一緒に暮らすのお♡

華穂：お兄ちゃんのこと、絶対幸せにするからあ…ちゅっ♡」

110 「華穂たちは兄妹で恋人なんだからあ、それくらい当たり前だよねえ?♡

ん~う、ちゅっ♡ ふふっ♡

111 「お兄ちゃん? 大好きだよつ?♡ ちゅっ♡」

■Track 5 終了